

ついで園ご進級

おめでとうがけがります。

コロナウイルスが世界中に拡散して大混乱に陥りました。桜もびつくりして、早々と咲き散り始めました。桜が散っても、花々がパツと咲き競いまさに春爛漫です。四月、新しい出会いの季節です。子ども達は、期待と不安で胸いっぱいでしょう。私達職員もワクワク、ドキドキしています。春風に乗って、進入園児の泣き声が響き保育園も大賑わいになります。でも、つつじが丘ふたばランドは子ども達の樂園です。愛と希望に溢れています。園と保護者の皆様がガツチリスクラムを組んでワンチームで楽しい園生活をつくりましょう。



| | | |
|----|---|-----------------|
| 4 | 土 | 入園式(9:30~) |
| 6 | 月 | 給食費引き落とし(3歳児以上) |
| 14 | 火 | 交通安全教室(5歳児のみ) |
| 15 | 水 | おべんとうデー |
| 23 | 木 | カレーの日 |
| 24 | 金 | 避難訓練 |
| 30 | 木 | 誕生会 |

子ども主体の生活をしましょう!

本園は今年度も168名という大所帯ですが、子ども達一人一人を大切に、子ども主体の保育活動を考えていきます。また、全園児を感染症等から守る観点からも、体調不良の時は病院受診や、ご家庭での療養をお願いする事もあります事をご理解下さい。また、子ども達は保育園の生活の中で他者との関わり方や社会のルールを学びます。大人が手本になり皆で子ども達を育てましょう!乳幼児期は親子の愛着関係を築く大切な時期です。子ども主体の生活スタイルでいきましょう!

園長 浅沼 玲子

今月の予定から

- 入園式(4日) 9時半
・今回はコロナウイルスの影響を考慮し、新入園児31名とその保護者で入園式を行います。少し寂しいですが、記憶に残る時間となるように考えていきます。また、在園児の進級写真は、子ども達と担任とで後日撮影する予定です。
- 交通安全教室(14日)
・4月、5月、6月は午後からの交通安全教室となる為午睡をしていない5歳児のみ参加します。年間を通して交通ルールや命の大切さを学びます。
- おべんとうデー(15日)
・毎月第3水曜日はおべんとうデーです。子ども達の大好きなお弁当作りを宜しくお願い致します。保冷剤(名前記入して)も必ず入れて下さいね。
- 避難訓練(24日)
・毎月の避難訓練で、地震・火事等を想定して命の大切さや避難の仕方を学びます。
- 誕生会(30日)
・4月生まれのお友達を全園児でお祝いします。ぞうグループ(年長児)の子ども達



が誕生児をエスコートしますよ。

●園内で実施しているピヨピヨひろばや子育てサロンは、コロナウイルスの影響を考慮し今月もお休みです。

★お知らせ★おねがい

★保育参観・保護者会総会があります。

5月9日(土) 予定9時~午前中

・詳細については、後日お知らせ致しますが、当日の土曜保育はありません。

☆登降園の際は駐車場内でお子さんの手を離さないようにお願いします。

☆朝夕の混雑時は、他の方の事も考慮しながら、速やかに送迎して下さい。また、牛久市青果市場のご厚意で朝(8時~9時)夕(16時~18時)には駐車可です。

☆お帰りの際は、園の坂を下り必ず右折でお願いします。くれぐれも園坂下を左折(至つつじが丘保育園)はしないように、お願いします。

☆お迎えの際は必ず「お迎えカード」の装着をお願いします。また、お迎えの方や時間が変更となる場合には、必ずご連絡ください。(ご連絡の無い場合は確認させて頂きます。)

☆土曜保育の申請はご利用前月の20日までに必ずお願い致します。20日過ぎるとご利用出来ません。また、土曜就労証明書を未提出の方は、利用日前日までに必ず提出して下さい。

☆検温は毎朝保育園でお願いします。☆リュックには、キーホルダー等何も付けないようにお願いします。(お守りはリュック内に縫いつけてください。)

☆髪飾り・ヘアピンはつけないようにお願いします。

*衣服は動きやすいゴムのズボン・Tシャツ・トレーナー等身体の動かしやすいものをお願いします。(フード付きパーカー・

スカート・スカート付ズボンは危険防止の為禁止です。)

こどもの楽園

4月の保育園のねらい(目標)は、乳幼児理解 全面的受容 信頼関係の構築です。保育園は「子ども達の楽園」です。楽しくなければ「保育園」ではありません。▼しかし、四月入園したばかりの子ども達の中には、泣きたいくらい不安と緊張で、身を硬くしている子どももいます。思いつきり大声で泣き、「こんなところイヤだ!お母さんと一緒にいたい!」と暴れる子どももいます。こんな時に、一番大切なことは幼児理解です。子ども達の思い、心を、しっかりと理解し、全面的に受容することです。親と一緒に不安になつて泣いたり、「泣くんじやない!」と目をつり上げていると、子どもは一層不安になります。▼自分の思いのままに泣けるなんて、素晴らしいと思いませんか?この時代にしか、こんなに泣けません。「お母さんから離れて、見知らぬ、訳も分からない、うるさい奴らと一緒にされて、僕は不安で心細くてイヤなんだ」と思うのは当然です。「先生は優しいよ、お友達と一緒に遊べるようになるよ、楽しいよ」と、伝えて下さい。▼子ども達が一日でも早く、自分の心に折り合いを付け、それを自ら乗り越えることが大切です。保育園が楽しく思えるようになるまで、温かく待ちましょう。「泣きたいだけ泣いていいよ」と、ゆつたりと受け入れ、にこやかに手をつないだり、見守ることです。子ども達はきつとすぐに、先生大好き、保育園大好き、と言ってくれるようになります。 理事長 浅田 精利

